

お母さんのひろば

市P連母親委員会は、市内27小中学校PTAの女性代表で構成されています。母親委員会では、興味・関心のあるテーマを協議して、年度ごとの事業を実施しています。平成25年度の活動を報告します。

【群馬県PTA家庭教育研究集会】

日時：平成25年11月30日（土）

会場：太田市新田文化会館ほか

参加者：24名

【研修会】

日時：平成25年12月2日（月）

行き先：首都圏外郭放水路

参加者：20名

【広報誌】

「お母さんのひろば」（本紙）を年1回、発行しています。



県PTA大会・家庭教育研究集会

平成25年11月30日（土）に太田市新田文化会館で開催された、家庭教育研究集会へ参加しました。今年度は、群馬県PTA大会と同日開催ということもあり、県内各地から多くの参加者が集まりました。家庭教育研究集会では、「食育」、「しつけ」や「カラーセラピー」など、8分散会が設定され、参加者は関心のある分散会に参加し、多くの学びを得ました。

太田市近郊の青少年で構成される、おおた芸術学校附属オーケストラ「ジュネス」の華やかな演奏で幕を開けた、第59回群馬県PTA大会は、「奏でよう親と子の心のハーモニー 子どもの心、親の心、響け群馬に！」をテーマとしており、『音楽』を軸にした大会でした。辻井伸行氏の恩師としても知られる、東京音楽大学准教授 川上 昌裕氏による講演「“天才力”を育てる技術-才能の見つけ方、伸ばし方」では、お話だけでなくピアノの演奏も披露していただきました。

来年度は、渋川市で県PTA大会が開催されます。平成26年11月29日（土）の大会当日に向けて、準備を進めています。



ゆるキャラに囲まれつつ、来年度の開催に向けて あいさつ

研修会 ～『地下神殿』に行ってきました

近年多発するゲリラ豪雨や、これまでに経験したことの無いような大型の台風。また、降雪量の記録を塗り替えた大雪は、皆さんの記憶にも新しいことと思います。

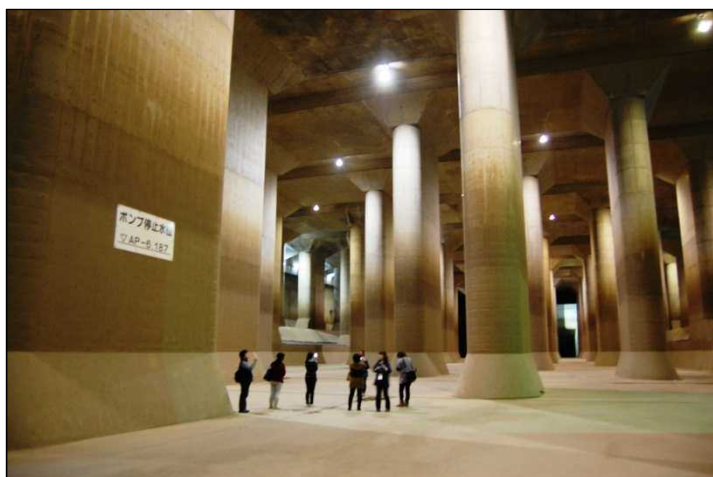
母親委員会では、「自然災害」をテーマとして、平成25年12月2日（月）に埼玉県春日部市にある首都圏外郭放水路を視察してきました。

首都圏外郭放水路は、大雨で増水した際、河川が氾濫しないように、あふれ出た水量を一時的に貯水・調整し、洪水を起こさないようにするという役割を持つ施設です。自然災害を防ぐという、大きな役割を学ぶとともに、施設自体の巨大さに圧倒されました。



調圧水槽で記念撮影。巨大な柱が林立し、まるで地下神殿。

奥行7m 幅2m 高さ18m、重さは500トン！そんな柱が、59本も並ぶ空間は、荘厳な雰囲気すらあります。「仮面ライダー」などのテレビ番組でも、ロケ地として使用されたこともあるため、お子さんと一緒にご覧になった方もいるかもしれませんね。



中央にいるのが、参加者。施設の大きさが伝わったでしょうか。



地下50m、116段の階段に備えて、準備運動！

コラム「かかあ天下」

「かかあ天下」と聞くと、マイナスイメージで捉えられがちです。上州名物として知られるようになったのは、明治ごろ。当時の群馬県は、富岡製糸場をはじめとして、製糸・織物業が盛んであったため、女性が重要な労働力として一生懸命に働いていました。

こうした働き者の妻を「うちの かかあ は天下一だ！」と自慢した、というのが由来とされています。

本来は、ほめ言葉だったんですね。

- 「かかあ天下」度チェック
- ① 働き者である
 - ② 意志が強い
 - ③ 義理人情に厚い
 - ④ 美人（…と知っている）
 - ⑤ 情熱的である
 - ⑥ 言葉が荒い
- 5つ以上 立派なかかあ天下
3〜4つ 標準のかかあ天下
2つ以下 もう一歩です
- 「けんま広報」平成元年七月一日号より